

# 九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和3年5月分：速報)

## <対世界>

- 輸出総額:6,150 億円(伸率: +36.2%) ⇒ 3か月連続のプラス
  - ・順位: 110位、5月としては5位  
(順位は、昭和54(1979)年1月以降(509 か月、5月は43 か月)による。以下同じ。)
  - ・増加品目: 自動車(同2.0倍)、鉄鋼(同+71.5%)
- 輸入総額:5,487 億円(伸率: +41.1%) ⇒ 2か月連続のプラス
  - ・順位: 128位、5月としては11位
  - ・増加品目: 原粗油(同2.4倍)、金属鉱及びびくず(同+63.2%)
- 差引額:663 億円(伸率: +6.0%) ⇒ 77か月連続の輸出超過
  - ・順位: 111位、5月としては6位
  - 為替レート: 2021年5月:108.80円/ドル(2020年5月:107.17円/ドルと比べ1.5%の円安)

## <品目別動向>

### ○輸出

自動車(630億円→1,259億円、伸率:2.0倍)は、アメリカ(59億円→281億円、同4.7倍)及び中国(403億円→515億円、同+27.8%)向けが増加し、4か月連続のプラスとなった。また、鉄鋼(366億円→629億円、同+71.5%)は、タイ(51億円→126億円、同2.5倍)及びEU(4億円→40億円、同9.5倍)向けが増加し、7か月連続のプラスとなった。

一方、半導体等製造装置(454億円→337億円、同▲25.7%)は、韓国(312億円→214億円、同▲31.6%)及び中国(118億円→93億円、同▲21.4%)向けが減少し、3か月ぶりのマイナスとなった。

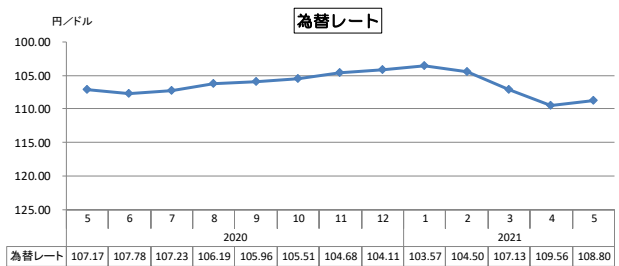
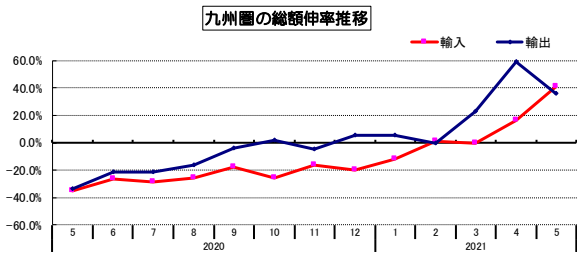
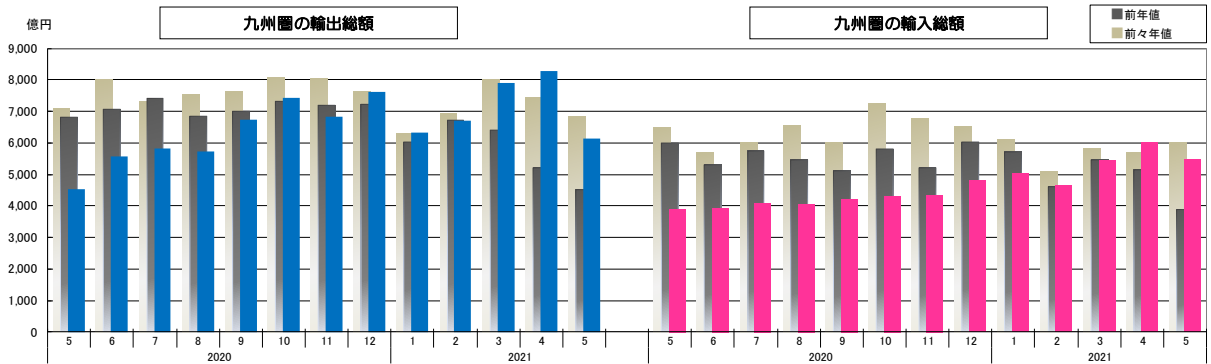
### ○輸入

原粗油(232万KL→222万KL、伸率:▲4.1%、408億円→970億円、同2.4倍)は、数量が減少したものの、価額は増加し、14か月ぶりのプラスとなった。また、金属鉱及びびくず(414億円→675億円、同+63.2%)は、鉄鉱石(116億円→263億円、同2.3倍)が増加し、7か月連続のプラスとなった。

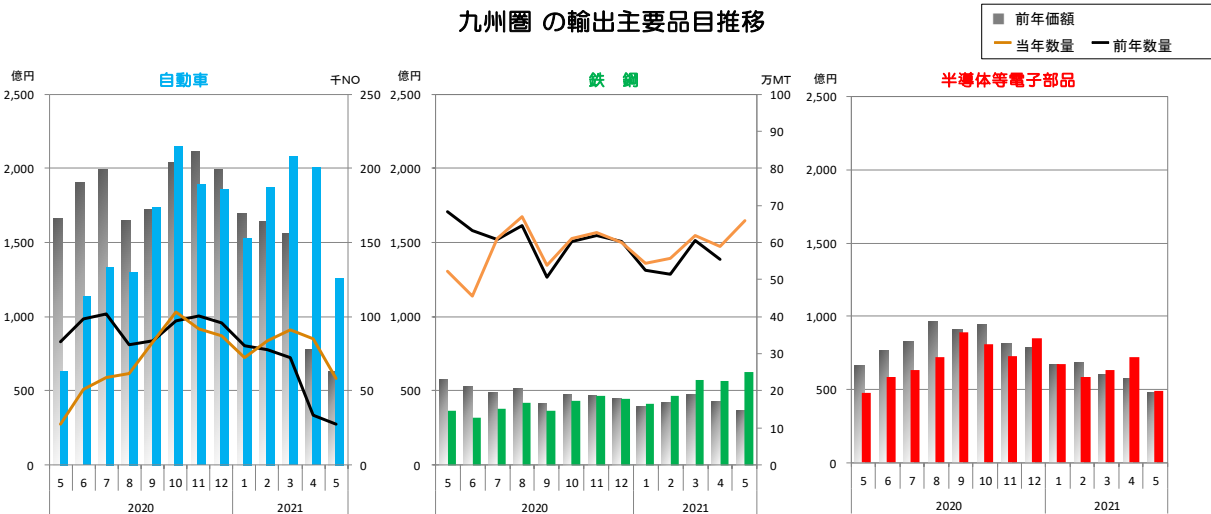
一方、織物用糸及び繊維製品(143億円→50億円、同▲65.1%)は、中国(128億円→34億円、同▲73.8%)及び韓国(6億円→4億円、同▲34.2%)からが減少し、2か月連続のマイナスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同月比

# 令和3年5月分：速報



## 九州圏の輸出主要品目推移



## 九州圏の輸入主要品目推移



※この内容を引用されるときは、「門司税関発表による」と付記してください。